

## メインシステム機種更新に伴うサービスの休止

センターのメインシステムは、平成4年度に現機種（HITAC M880/420及びM880/210）に更新して各種サービスを運用してまいりましたが、オープンシステムへの対応、利用者の増加及びデータベース容量の増加に対処するために、平成8年1月から新しい機種構成でサービスを運用することになりました。

今回の機種更新作業は作業量が膨大であるため、従来の年末年始の目録所在情報サービス（NACSIS-CAT, NACSIS-ILL）休止期間を下記のとおり延長して実施することを予定しております。昨年末の電算機設備の移転に引き続き年末のサービス期間が短縮されることになり、利用者の皆様には大変御迷惑をおかけしますが、御協力よろしくお願いいたします。

### サービス休止期間

平成7年12月20日（水）～平成8年1月8日（月）

なお、オンラインサービス以外にも、総合目録データベース個別版・定期版提供サービス及び拡張文字フォント移植サービスも当該期間中は休止することになりますのであわせて御了承ください

## 個別版CD-ROM提供サービスの追加募集

「個別版CD-ROM提供サービス」の平成7年度追加募集を以下の要領で行います。

### • サービス提供条件

#### (1)対応機種およびOS

- NEC-9801VX以降に発売されたPC-98シリーズでMS-DOSバージョン3.3以上。
- IBM-PCまたはその100%互換機でDOS/Vバージョン5.0以上。

#### (2)対象機関

- 目録所在情報サービスの参加組織(学総目参加機関を含む)。

#### (3)収納対象

- 総合目録データベースに登録された図書・雑誌の書誌・所蔵データ。
- 図書のみ,雑誌のみ,和洋単位でも受け付けます。

#### (4)作成単位

- 単一の参加組織,またはいくつかの参加組織からなるグループ(機関全体や大学と短期大学の集合など)。ただし、後者の場合グループに属する全ての参加組織の同意が必要です。
- 他の機関の参加組織を含めたグループも可能ですが,この場合は,対象機関の同意書が必要です。
- 配置コード単位でも作成できる場合があります。

#### (5)収納件数

- 上記作成単位の平成7年9月末現在の収納対象所蔵件数の合計が12万件を限度とします。

#### (6)提供頻度

- 年1回。

#### (7)提供セット数

- 同一のCD-ROMを最大5セットまでとします。

## (8)提供時期

- 受諾書において個別に通知します。

## (9)提供価格

対象件数	1セット単価	2～5セットの単価
3万件以下	10,000円	5,000円
6万件以下	20,000円	10,000円
9万件以下	30,000円	15,000円
12万件以下	40,000円	20,000円

(注1)対象件数は、平成7年9月末現在の収納対象所蔵件数。

(注2)いずれも1セットあたりの消費税込みの価格で、単位は円。

(注3)例えば、作成対象件数が3万件的機関が5セット申し込む場合は  
 $10,000 + 5,000 \times 4 = 30,000$   
で、3万円となります。

## (10)CD-ROMの保証期間

- 提供するCD-ROMについては、通常の使用で一年間保証します。通常の使用で障害が生じた場合は、一年以内であれば無償で交換します。

### ● 申込締切

平成7年10月31日(火)必着。

### ● 申込書の請求・問い合わせ先

〒112 東京都文京区大塚3-29-1  
学術情報センター事業部目録情報課専門・電子情報係気付  
財団法人電気・電子情報学術振興財団  
電話 (03) 3942-6987, 6888(直通)  
FAX (03) 3944-7131

## 学術雑誌総合目録和文編全国調査説明会の開催

今年度から実施する和文編全国調査の開始にあわせ、調査のための説明会を、下記の通り全国6か所で開催します。

対象地区	日時	場所
北海道地区	平成7年11月7日(火) 13:30 ~ 16:30	北海道大学附属図書館 (札幌市北区北8条)
東北地区	平成7年11月10日(金) 13:30 ~ 16:30	東北大学附属図書館 (仙台市青葉区川内)
関東・甲信越地区	平成7年10月30日(月) 平成7年10月31日(火) 平成7年11月1日(水) 各13:30 ~ 16:30	筑波大学学校教育部 (東京都文京区大塚3丁目, 学術情報センター隣)
中部地区	平成7年11月10日(金) 13:30 ~ 16:30	名古屋大学経済学部 (名古屋市千種区不老町)
関西・中国・四国地区	平成7年11月8日(水) 13:30 ~ 16:30	京都大学薬学部 (京都市左京区吉田下阿達町)
九州・沖縄地区	平成7年11月1日(水) 13:30 ~ 16:30	九州大学附属図書館 (福岡市東区箱崎6丁目)

この説明会では、1)全国調査の概要、2)書誌・所蔵データの作成要領、3)CD-R OM 全国調査システムの利用方法などに関して説明しますので、調査の担当者の方はできるだけ参加してください。

調査に参加する予定の組織には、別途、この説明会に関する案内をお送りします。所定の用紙により説明会への参加を申し出てください。なお、会場の都合上、各参加組織からの出席者数は原則として1名とさせていただきます。

問い合わせ先： 目録情報課 雑誌目録情報係

TEL.03-3942-6985~6, FAX.03-3944-7131

## AACR2の改訂について(2)

洋資料を扱う場合に準拠する目録規則であるAACR2の改訂について、どのような変更があったのかを、[前回](#)に引き続き紹介します。

今回は、アクセス・ポイントの選定に関わる章(AACR2 第21章)を取り上げます。

### 第21章 アクセス・ポイントの選定

#### 21.1 基本規則

##### 21.1A 個人著者の著作

###### 21.1A1

改訂内容:個人著者の例示の削除

AACR2	↓	図書の著作者や音楽の作曲者等が例示されていた
AACR2R88		具体的な例を削除し、定義の個別的な適用については、章中の当該箇所を見るという一般的な指示に変更

##### 21.1B 団体のもとの記入

###### 21.1B2

改訂内容:団体のもとに記入する著作のカテゴリーのうち、b)、e)中に列挙される種類を追加し、カテゴリーf)を新たに規定した

###### b)

AACR2	↓	「以下の種類に属する法律・行政上の著作」(種類省略)
AACR2R88		“constitutions (see 21.33),” “court rules (see 21.34)”を種類に追加 また、「宗教上の著作」を加え、種類としては、“religious laws (e.g., canon law),” “liturgical works (see 21.39)”を追加

###### e)

AACR2	↓	演奏・演技グループがグループとして活動した所産で、その責任が演技・演奏、製作にとどまらない録音物、フィルムおよびビデオ録画
AACR2R88		演奏・演技グループがグループとして活動した所産で、その責任が演技・演奏、製作にとどまらないもの。上記録音物等の他に、こうした演奏・演技活動を書いた記録も含む

###### f)

AACR2R88		団体による地図資料で、その団体の責任が出版・頒布にとどまらないもの
----------	--	-----------------------------------

#### 21.2 本タイトルの変更

##### 21.2A 定義

###### 21.2A1 (AACR2 21.2A)

改訂内容:本タイトルが変更されたと見なす場合の縮小(ISBD(S)に合わせた改訂)

AACR2R88		冠詞・前置詞・接続詞以外の語が追加・削除・変更された場合、また、冒頭の5語(最初が冠詞のときは6語)の語順に変更があった場合は、通常、本タイトルが変更されたとみなす。 ただし、 a) 語の表現上の変化(短縮形等と完綴形、単数と複数、綴りの相違
----------	--	---

など)

- b) 冒頭の冠詞を除く最初の5語より後の語に変更があったが、タイトルの意味や主題はそれによつては変わらない場合
  - c) タイトル末尾の刊行団体名の付加・削除
  - d) 区切り記号の変更
- は、本タイトルの変更とは見なさず、適宜注記に記し、また、アクセス上必要であれば副出記入の標目とする

注意: 総合目録データベースでは、アクセス上必要であれば、変更はあったが本タイトルの変更とはみなさないタイトルは、VIフィールドに記録する

## 21.6 責任性の分担されている著作

### 21.6C 主たる責任性が示されていない場合

#### 21.6C1

改訂内容: 個人名・団体名が主情報源に表示されている順序が版によって異なっている場合に関する規定を追加

AAcr2R88 各版を、その版で最初に表示されている個人・団体に対する標目のもとに記入する

\*例) Decision systems for inventory management and production planning / Rein Peterson, Edward A. Silver  
基本記入は Peterson に対する標目のもとに  
副出記入を Silver に対する標目のもとに

Decision systems for inventory management and production planning. — 2nd ed. / Edward A. Silver, Rein Peterson  
基本記入は Silver に対する標目のもとに  
副出記入は Peterson に対する標目のもとに

注意: 総合目録データベースでは、基本記入の標目にあたるものは、ALフィールドに記録する際、主記入フラグを付すことができる

#### 21.6C2

改訂内容: 責任性が4以上の個人・団体で分担されている著作で、主たる責任性がどこにあるか示されていない場合の副出記入に関する文言の変更

AAcr2 副出記入は最初に表示されている個人名・団体名に対する標目のもとに作成する  
↓  
AAcr2Amen. 93 副出記入は目録対象資料に顕著に示されているうちの最初の個人名・団体名に対する標目のもとに作成する

改訂内容: 目録対象資料に個人名・団体名が表示されていない場合の規定の削除  
編者が表示されている場合の規定の追加

AAcr2Amen. 93 3以下の編者が顕著に表示されている場合は、それぞれの編者に対する標目のもとに副出記入を作成し、4以上の編者が顕著に表示されている場合は、主要な編者および(または)最初に表示された編者に対する標目のもとに副出記入を作成する、という規定を追加

\*例) A dictionary of music and musicians (A.D. 1450–1889) / by eminent writers ...; edited by Sir George Grove  
基本記入はタイトルのもとに  
副出記入は Grove に対する標目のもとに

## 21.7 合集、および編者の指揮のもとに作成された著作

### 21.7A 適用範囲

#### 21.7A1 (AAcr2 21.7A)

改訂内容: カテゴリーの3)を削除  
当条項の適用を除外する旨の規定を削除  
会議の論文集または議事録についての参照を削除  
録音物の合集についての参照を追加

AAcr2Amen. 93 録音物の合集については、21.23C–21.23D を参照する

## 21.12 テキストの改訂

- 21.12A 原著者が責任を有すると考えられる場合  
(見出しは AAcr2R88 の改訂によって付加された)
- 21.12B 原著者がもはや責任を有しないと考えられる場合  
(見出しは AAcr2R88 の改訂によって付加された)

21. 12A1 (AACR2 21. 12A)

改訂内容:原著の著者等が責任を有すると考える場合の変更

AACR2	その名称が責任表示またはタイトル中に表示されていたり、主情報源の表現形式によってその責任性がいまだに保たれていると考えられる場合
	↓
AACR2R88	その名称が1)責任表示に表示されているか、2)本タイトルに表示されていて、かつ、責任表示やタイトル関連情報にその他の個人名が表示されていない場合

21. 12B1 (AACR2 21. 2B)

改訂内容:原著の著者等に対する標目のもとには記入しない場合の規定の変更

AACR2	主情報源の表現形式が、原著に責任のある個人・団体がもはやその著作に責任を有すると考えられていないことを示している場合は、改訂者等のもとに記入し、原著に対する標目のもとに固有名+タイトルの副出記入を作成する
	↓
AACR2R88	主情報源の表現形式が、原著に責任のある個人・団体がもはやその著作に責任を有さないと考えられるような場合の例として、原著者が本タイトル中にのみ表示されているが、責任表示や版の責任表示にはその他の個人・団体が主たる責任者として表示されている場合が挙げられている。またこのとき、改訂者に対する標目のもとに記入する、という指示のほかに、場合によってはタイトルのもとに記入する、という規定も追加された。原著者に対する標目のもとに固有名+タイトルの副出記入を作成する際、容易にわかるときは、原著に責任のある個人・団体に対する標目のもとに記入されたもののうち最新の版のタイトルを用いる旨付記された。また、タイトルが原著の著者名で始まり、基本記入が改訂者等の名のもとに作成された場合は、必ずタイトルの副出記入を作成する旨追加された

\*例) Salmond on the law of torts. — 12th ed. / by R. V. Heuston

AACR2: 基本記入はSalmond に対する標目のもとに

副出記入をHeuston に対する標目のもとに

(21. 12A1の例)

AACR2R88: 基本記入はHeuston に対する標目のもとに

副出記入(固有名+タイトル形)をSalmond に対する標目のもとに

副出記入をタイトルのもとに

(21. 12B1の例)

注意:総合目録データベースでは、基本記入の標目にあたるものは、ALフィールドに記録する際、主記入フラグを付すことができる。また、同データベースでは、固有名+タイトルの標目は使用しない

21. 12A1 (AACR2 21. 12A)

改訂内容:縮約(abridgement)、要約(condensation)の記入方法の変更

AACR2	(改訂、増補、更新と同様)原著の著者等が責任を有すると考えられる場合は原著者に対する標目のもとに記入し、縮約者等に対する標目のもとに副出記入を作成する
	↓
AACR2R88	縮約の場合は、原著者に対する標目のもとに記入し、縮約者に対する標目のもとに副出記入を作成する。原著からの書き直し(rewriting)を含む要約については、21. 10(テキストの翻案)の指示に従う〔すなわち、翻案者等に対する標目のもとに記入する。翻案者名不明のときはタイトルのもとに記入する原著に対する副出記入を作成する〕

注意:総合目録データベースでは、基本記入の標目にあたるものは、ALフィールドに記録する際、主記入フラグを付すことができる

21. 23 録音物

(見出しはAACR2R88の改訂によって、「録音物の記入」から変更)

- 〔21. 23C 複数の個人・団体による著作。総合タイトル〔あり〕
- 〔21. 23D 複数の個人・団体による著作。総合タイトルなし

改訂内容:これらの見出しはAACR2R88の改訂によって付加された。また、AACR2 ではCとDとは総合タイトルの有無ではなく、主たる演奏・演技者の数によって分けられていた。

21. 23C1 (AACR2 21. 23C, 21. 23D)

改訂内容:改訂前の規定の適用範囲を、総合タイトルを持つ録音物に限定

AACR2	主たる演奏・演技者が2か3のときは、最初に表示されているものに対する標目のもとに記入し(21. 23C)、4以上か0のときは、タイトルのもとに記入する。(21. 23D)。
AACR2R88	↓ 総合タイトルを持つものについて、上記の規定を適用する

## 21. 23D1 (AACR2 21. 23D)

改訂内容:総合タイトルを持たないものを1単位として扱う場合について詳しい規定を新設

AACR2	21. 7C を参照する〔すなわち、主情報源に示された最初の著作に対する適切な標目のもとに記入する。総合的な主情報源がなければ目録対象資料中の最初の著作に対する適切な標目のもとに記入する〕
AACR2R88	↓ a) (いわゆるポピュラー、ロック、ジャズ音楽に通常見られるように)演奏者の役割が演奏・製作・解釈を超えている場合は、主たる演奏者として表示されている個人・団体に対する標目のもとに記入する(イ) 主たる演奏者が2または3のときは最初に表示されているものに対する標目のもとに記入し、その他に対する標目のもとに副出記入を作成する(ロ) 主たる演奏者が4以上か0のときは、最初に表示された著作に対する適切な標目のもとに記入する(ハ) b) (クラシックその他いわゆるシリアスな音楽に通常見られるように)演奏者の役割が演奏・製作・解釈にとどまる場合は、最初の著作に対する適切な標目のもとに記入し、適宜その他の著作に対する標目のもとに副出記入を作成する。 21. 23A1 の指示に従って、各著作の主たる演奏者に対する標目のもとに副出記入を作成する

\*例) I want to make you smile / Bill Medley ; [sung by] Kenny Rogers. Coward of the county / R. Bowlings, B.E. Wheeler ; [sung by] Kenny Rogers  
 基本記入はRogersに対する標目のもとに(a)-(イ))

Ko Ko Mo / Forest, Haven ; the Harmonaires with Bob Murray Orchestra. Tweedle dee / Scott ; Joni Downs and the Starliners. Ballad of Davy Crockett / Blackburn, Bruns ; Heck Johns and the Pioneers. How important can it be? / Benjamin, Weiss ; Joan Forrest with Jay Weston Orchestra  
 基本記入はForestに対する標目のもとに(a)-(ハ))

Concerto grosso no. 1 for string orchestra with piano obbligato / Bloch. Spirituals : for string choir and orchestra / Gould  
 (最初の著作はRafael Kubelik指揮Chicago Symphony Orchestra演奏、第2の著作はAntal Dorati指揮Minneapolis Symphony Orchestra演奏)  
 基本記入はBloch に対する標目のもとに  
 副出記入(固有名+タイトル形)をGould に対する標目のもとに  
 副出記入をKubelik, Dorati および2つのオーケストラに対する標目のもとに(b))

注意:総合目録データベースでは、基本記入の標目にあたるものは、ALフィールドに記録する際、主記入フラグを付すことができる。また、同データベースでは、固有名+タイトルの標目は使用しない

## 21. 35 条約、政府間協定など

### 21. 35D 国より小さい単位の法域が締結する条約

#### 21. 35D4 (新設条項)

改訂内容:政府機関と非政府団体との間の協定の記入に関する規定の新設

AACR2Amen. 93	21. 6C(責任性の分担されている著作で、主たる責任性が示されていない場合)の指示に従う。国際的な非政府団体が当事者となった協定については21. 35B(国際機関の締結する協定)を参照する
---------------	---

## 21. 35F 合集

### 21. 35F1

改訂内容:付記に関する参照先の変更  
 合集としての総合タイトルのもとの記入に関する規定の追加

AACR2	統一タイトルの付記については、参照先の21. 35A1 に言及されているが、35A1では、統一タイトルの記載方法は、25. 16B(単独の条約
-------	---

	などで当事者数2か3の場合)を参照することになっていた
↓	
AACR2Amen. 93	当事者に対する標目に, 25. 16A1 (AACR2 25. 16A(条約などの合集))に指示されているように, 統一タイトルを付記する 合集としての総合タイトルが知られているならば, 25. 16A1 を参照して, その名称に対する統一タイトルのもとに記入する

注意: 現在のところ, 総合目録データベースでは, 法律条約等の統一タイトルは記録しない

#### 21. 35F2

改訂内容: 付記に関する参照先の変更  
合集としての総合タイトルのもとの記入に関する規定の追加

AACR2	当事者に対する基本記入・副出記入の標目に, 25. 16B1 を参照して統一タイトルを付記する
↓	
AACR2Amen. 93	統一タイトルの付記については, 25. 16A1 を参照する 合集としての総合タイトルが知られているならば, 25. 16A1 にあるように, その名称に対する統一タイトルのもとに記入する

注意: 現在のところ, 総合目録データベースでは, 法律条約等の統一タイトルは記録しない

#### 21. 38 神学的信経, 信仰告白など

##### 21. 38A (AACR2 21. 38)

改訂内容: 複数の宗派によって認められている神学的信経・信仰告白等の記入方法の変更

AACR2	目録対象の版に関係のある宗派に対する標目のもとに記入する。主情報源にその著作に本来責任を有する団体名が表示されているときは, それに対する標目のもとに副出記入を作成する その版が特定の宗教団体と無関係ならば, その著作に対して本来責任を有する団体に対する標目のもとに記入する それ以外のときは, タイトルのもとに記入する
↓	
AACR2Amen. 93	タイトルのもとに記入する。適宜統一タイトルを用いる(よく知られる英語のタイトルがあればそれを用い, なければ原著の言語によるタイトルを用いる) 目録対象資料に関係のある個人・団体が3以下ならば, それぞれに対する標目のもとに副出記入を作成する。4以上ならば副出はしない

\*例) The Assembly's Shorter catechism as used in the Presbyterian Church in the United States  
(ウェストミンスター会議の教理問答書)

AACR2: 基本記入は教会に対する標目のもとに  
副出記入をウェストミンスター会議に対する標目のもとに

Amen. 93: 基本記入はShorter catechism に対する統一タイトルのもとに  
副出記入を教会とウェストミンスター会議に対する標目のもとに

注意: 現在のところ, 総合目録データベースでは, 宗教的著作の統一タイトルは記録しない

## 「目録情報の基準運用細則」作成検討部会の審議内容

「目録情報の基準運用細則」作成検討部会 第18回打ち合わせ(調整作業班による)

日時：平成7年7月3日(月) 10:00～17:00

1. 「和図書書誌レコード」について
  - 2.0「通則」,2.0.1「固有の標題」,2.0.2「書誌構造」,2.0.3「出版物理単位」について,前回の審議結果をふまえた修正案をもとに意見交換を行った。また,2.0.4「複製・原本代替資料」,2.0.5「付属資料」,2.0.6「ルーズリーフ資料」についても,修正案をもとに意見交換を行った。
2. 「洋図書書誌レコード」について
  - 4.2.1「TR」,4.2.2「ED」について,修正案をもとに審議を行い,特に目録規則中の用語の訳出等について検討した。

---

「目録情報の基準運用細則」作成検討部会 第19回打ち合わせ(調整作業班による)

日時：平成7年7月21日(金) 13:30～17:00

1. 「和図書書誌レコード」について
  - 2.0「通則」,2.0.1「固有の標題」,2.0.2「書誌構造」,2.0.3「出版物理単位」について,意見交換を行い,概ね了承された。また,2.0.4「複製・原本代替資料」,2.0.5「付属資料」,2.0.6「ルーズリーフ資料」についても,前回の審議結果をふまえた修正案をもとに意見交換を行った。
2. 「洋図書書誌レコード」について
  - 4.2.1「TR」,4.2.2「ED」について,前回の審議結果をふまえた修正案をもとに審議を行い,目録規則への参照の方法等について引き続き検討した。